

葎木林ファンクラブ 通信

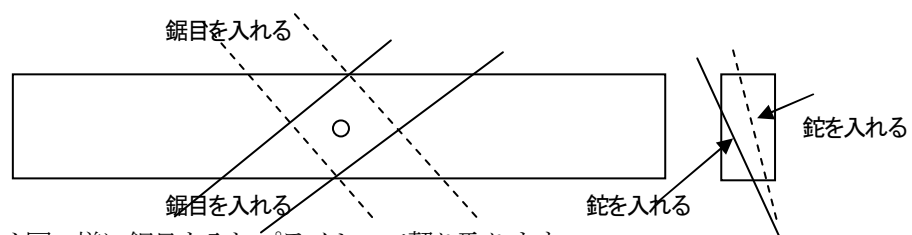
住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

我流、竹とんぼの作り方

作り始めた理由は、ZFCに入会しそこに太い孟宗竹があったから、そしてS・Fで売ることが出来るから作り始め、今に至っています(約9年)。作り始めのS・Fでは、各種いろいろ作り1個100円又200円で2回ほど売りましたが売り上げは芳しくありませんでした。プラスチック、中国産に負けた。その後 作った竹とんぼを自治会の子供会に寄付、大場氏の紹介で横浜市聾学校(はまっこクラブ)への協力など年間100~150個ほど作っています。ここ2年ばかりS・Fでは「はまっこクラブ」のやっている方法を取り入れ、竹とんぼの飛ぶ説明と、工作ではサンドペーパーでの表面研磨、羽のバランス取り、羽の色付けを実施、「作るよろこび」? これが現在受けています。

作り方ですが、秋 竹が水の吸い上げをしなくなった時、切り 長さ約12cm、幅約2.5cmの短冊を作り井桁に積み乾燥させます。この時 斜めの鋸目を入れ、センターの穴2.5mmを開け乾燥を速めても結構です。乾燥が悪いと綺麗な白い肌の竹とんぼにはなりません。竹内部の水管にカビが生え灰色になります。ひどい竹は軟らかくなり使えません。

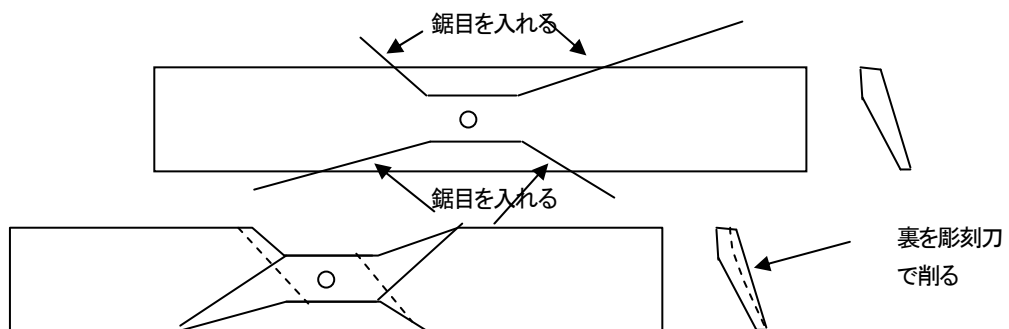
良く乾燥した竹に鋸目を入れ両刃の鉋で羽を図の様に落とします。



中心部を細くするため図の様に鋸目を入れプライヤーで齧り取ります。

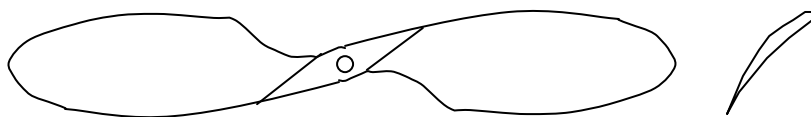
次に竹の裏を彫刻刀(半丸)で丸く削ぎます(軽量化)

後処理として折れた金切鋸刃を丸く加工しさらに綺麗にします。



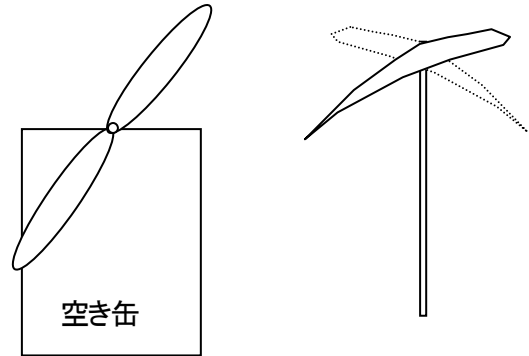
形を整えるためナイフで加工、それから金工鑢(長さ200mm半丸)で心ゆくまで薄くします。その時、軍手が破れ無ないように、軍手の親指、人差し指、中指に紙養生テープを巻きます。

ナイフで整形



時々羽の左右バランス取ります。(中心に真直ぐな細い鉄の棒(2.5mm)を挿し平な所に置く水平になるように)
取れたら羽傾きを調整します。(私は薬缶の蒸気を利用します。) 細い鉄の棒とラジペンで薬缶注ぎ口から出る蒸気を当てひねって調整します。

空き缶に水
を入れるな
どの工夫



サンドペーパーで最後仕上げをした後、色付けし軸を付けます。トンボの軸として太さ3mmの竹ヒゴを使用します、長さ13cm前後を挿しボンド固定し完成です。
トンボの軸の正確な長さは、不明 羽の重さ、広さ、長さ等関係し不明です。

吉田光雄

1. 2012年7月の活動報告

- ① 7月7日(土)13人 真竹採集、孟宗竹除伐、窯の修理、炭材作り
- ② 7月14日(土)13人 竹林炭材採集、シイタケ本伏せ、木工他
- ③ 7月21日(土)15人 日清オイリオボランティア対応、炭材作り
 龔学校へ提供の竹作品作(8月10日)、
 午後:運営会
- ④ 7月25日(水)6人 窯の修理、炭材作り
 龔学校へ提供の竹作品作り

2. 運営会<7月21日>報告

- ① 8月度計画:3項参照
- ② 9月15日(土) 森の家でバーベキュー大会開催を決定
- ③ 運営会終了後、横浜市環境創造局及び森緑地設計事務所による
 横浜自然観察の森保全管理計画のヒアリングが行われ出席のZFC
 メンバーから日頃の活動の中で感じている様々な意見が述べられた。

3. 8月度活動予定

- ① 7月28日(土) 午前:栄高校体験学習準備(マーキング、鎌研ぎ等)
 苗畑の楓除伐
 午後:栄高校対応、駐車場草刈り、龔学校作品作り
- ② 8月4日(土) トウネズ除伐(苗畑・要ツルの処理)、龔学校作品作り
- ③ 8月11日(土) 桜林の草刈り、小屋の屋根修理、龔学校作品作り
- ④ 8月18日(土) トウネズ除伐、運搬、古材処理
 午後:運営会
- ⑤ 8月25日(土) クヌギ林草刈り

4. 編集後記

以上